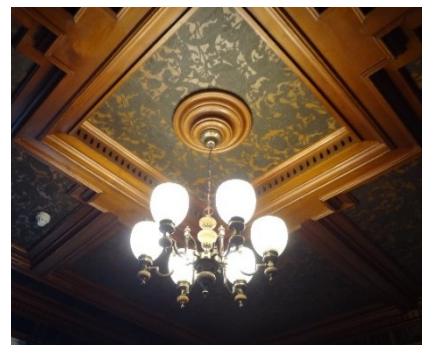


今回の視察研修は、砺波民具展示室・砺波市立砺波郷土資料館と白川郷へ行ってきました。

砺波民具展示室は、砺波市立庄東小学校の3階を使用して開館した博物館で、明治期から昭和 30 年代の砺波の生活用具や農具・職人の用具などが収蔵されています。そのうちの 6,900 点が国重要有形文化財に指定されているそうです。ガイドさんに説明を受けたり質問したりしながら、それぞれ自由に見て回り、その頃の生活の様子をうかがい知ることができました。使ったことのある懐かしい用具もありましたよ。



砺波郷土資料館は、旧中越銀行本店の建物を移築して開館されていて、当時最高とされた擬洋風建築の装飾はとても見ごたえがありました。歩いていける旧中嶋家も見学してきました。



砺波で昼食をいただいた後は、白川郷へ行き、最初に県重要文化財を保存、公開している野外博物館 合掌造り民家園を見学しました。その後は、であい橋を渡って、皆さん自由に庭や自然の花などを眺めたり、ご当地ならではのお土産も買ったりと、ゆっくり集落内の散策を楽しみました。展望台までの坂道を歩いたのですが、そこから眺める景色はとても壮観で、疲れを忘れさせてくれました。



天候にも恵まれ、歴史や文化に触れながら、
初夏の自然を楽しんできました！

